



2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月10日
東

上場会社名 株式会社フィル・カンパニー 上場取引所
コード番号 3267 URL <http://philcompany.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 麻理
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 竹内 剛史 (TEL) 03 (6264) 1100
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第3四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	3,865	27.3	153	—	140	—	87	—
2023年11月期第3四半期	3,036	23.2	△151	—	△224	—	△184	—

(注) 包括利益 2024年11月期第3四半期 87百万円(—%) 2023年11月期第3四半期 △184百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第3四半期	16.20	—
2023年11月期第3四半期	△34.93	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第3四半期	7,081	2,799	39.3
2023年11月期	5,450	2,730	50.0

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 2,786百万円 2023年11月期 2,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	25.8	300	39.7	280	106.2	190	399.5	35.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年11月期3Q	5,778,000株	2023年11月期	5,778,000株
2024年11月期3Q	408,217株	2023年11月期	408,180株
2024年11月期3Q	5,369,812株	2023年11月期3Q	5,289,175株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有する当社株式(2024年11月期3Q35,500株、2023年11月期35,500株)が含まれております。また、役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数に含めております。(2024年11月期3Q35,500株、2023年11月期3Q35,500株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(収益認識関係)	11
(1株当たり情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年12月1日から2024年8月31日まで)におけるわが国経済は、円安を背景としたインバウンド需要の拡大や賃上げ等による雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調となりました。その一方で、不安定な国際情勢や原材料・エネルギー価格の高騰、日銀による金融政策の見直し等、依然として景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「まちのスキマを「創造」で満たす」をパーパスとして掲げ、土地オーナー・入居者・地域にとって三方良しとなる企画である空中店舗「フィル・パーク」及びガレージ付賃貸住宅「プレミアムガレージハウス」を事業展開してまいりました。土地オーナーに土地活用商品の企画提案をする「請負受注スキーム(既存土地オーナー向けサービス)」と、不動産投資家に当社が土地を購入し土地活用商品の開発から販売までを行う「開発販売スキーム(不動産投資家向けサービス)」の両スキームにより、ソリューションサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,865,540千円(前年同期比27.3%増)、売上総利益は1,128,365千円(前年同期比57.9%増)、売上総利益率は29.2%(前年同期は23.5%)となっております。

前期下期に受注した案件の売上が寄与し請負受注による売上が増加したことに加え、開発販売スキームにおいて大型案件の販売引渡が完了したことにより売上高、売上総利益ともに前年同期より増加いたしました。

営業損益は、業容拡大に伴う先行投資としての人件費の増加、事業プロセス・組織改革推進に伴う業務委託費の増加、企業ロゴリニューアル等に伴う広告宣伝費の増加等により販売費及び一般管理費が前年同期よりおよそ1割増加したものの、売上高及び売上総利益の増加に伴い営業利益は153,942千円(前年同期は営業損失151,860千円)、経常利益は140,667千円(前年同期は経常損失224,501千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は87,003千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失184,768千円)となっております。

当第3四半期連結累計期間における売上高、売上内訳、売上原価、売上総利益及び売上総利益率は下表のとおりです。

(単位：千円)

2024年11月期					
		第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間
売上高		606,083	720,625	2,538,831	3,865,540
売上 内 訳	請負受注	488,212	597,533	1,073,171	2,158,917
	開発販売	—	—	1,340,550	1,340,550
	その他	117,871	123,091	125,109	366,073
売上原価		398,395	503,783	1,834,995	2,737,174
売上総利益		207,688	216,842	703,835	1,128,365
売上総利益率		34.3%	30.1%	27.7%	29.2%

2023年11月期					
		第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間
売上高		733,051	1,122,189	1,181,225	3,036,466
売上 内 訳	請負受注	623,800	770,911	693,519	2,088,232
	開発販売	—	209,902	361,997	571,899
	その他	109,250	141,374	125,708	376,334
売上原価		544,422	885,530	892,130	2,322,084
売上総利益		188,628	236,658	289,094	714,382
売上総利益率		25.7%	21.1%	24.5%	23.5%

<請負受注スキーム>

当第3四半期連結会計期間における「請負受注スキーム」の受注件数は11件で受注高は1,915,389千円（前年同期は1,117,648千円）となり、受注件数、受注高ともに同四半期としては過去最高となりました。内訳は空中店舗フィル・パークの受注件数が5件（前年同期は3件）、受注高が1,418,036千円（前年同期は758,754千円）、プレミアムガレージハウスの受注件数が6件（前年同期は6件）、受注高が497,353千円（前年同期は358,894千円）となっております。これにより、当第3四半期連結累計期間における受注件数は32件（前年同期は16件）、受注高は3,878,822千円（前年同期は2,161,520千円）となり、通期における受注件数、受注高ともに過去最高を更新するペースとなっております。内訳は空中店舗フィル・パークの受注件数が12件（前年同期は7件）、受注高が2,503,186千円（前年同期は1,621,689千円）、プレミアムガレージハウスの受注件数が20件（前年同期は9件）、受注高が1,375,635千円（前年同期は539,830千円）となっております。受注件数の増加に伴い、将来の売上見込金額である受注残高についても当第3四半期連結会計期間末時点で4,553,214千円（前年同期末時点は1,830,054千円）となり、初めて40億円を突破し過去最高水準となっております。

<開発販売スキーム>

当第3四半期連結会計期間では新たに1件の用地取得契約を締結し、また1件の販売引渡を行っております。

これにより、当第3四半期連結会計期間末時点の開発プロジェクト残件数は9件、将来の売上原価見込金額となる開発プロジェクト残高は3,443,466千円（前期同期は4,504,548千円）となっております。

<事業の状況>

		2024年11月期					
		単位	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
請負受注スキーム	受注高※1 (受注件数)	千円 (件)	1,090,639 (10)	872,793 (11)	1,915,389 (11)	—	3,878,822 (32)
	空中店舗フィル・パーク	千円 (件)	721,650 (5)	363,498 (2)	1,418,036 (5)	—	2,503,186 (12)
	プレミアムガレージハウス※2	千円 (件)	368,988 (5)	509,294 (9)	497,353 (6)	—	1,375,635 (20)
	期末時点受注残高※3 (期末時点進行プロジェクト件数) ※4	千円 (件)	3,470,658 (28)	3,698,936 (37)	4,553,214 (44)	—	—
開発販売スキーム	販売引渡件数	件	0	0	1	—	1
	開発用地取得契約件数※5	件	3	2	1	—	6
	開発プロジェクト残高※6 (開発プロジェクト残件数)	千円 (件)	3,916,753 (7)	4,475,951 (9)	3,443,466 (9)	—	

2023年11月期							
		単位	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
請負受注スキーム	受注高※1 (受注件数)	千円 (件)	677,786 (3)	366,085 (4)	1,117,648 (9)	1,861,712 (13)	4,023,232 (29)
	空中店舗フィル・パーク	千円 (件)	613,386 (2)	249,548 (2)	758,754 (3)	1,250,451 (4)	2,872,141 (11)
	プレミアムガレージハウス※2	千円 (件)	64,400 (1)	116,536 (2)	358,894 (6)	611,260 (9)	1,151,091 (18)
	期末時点受注残高※3 (期末時点進行プロジェクト件数) ※4	千円 (件)	1,902,467 (19)	1,460,282 (15)	1,830,054 (19)	2,863,962 (26)	—
開発販売スキーム	販売引渡件数	件	0	1	1	5	7
	開発用地取得契約件数※5	件	1	1	2	1	5
	開発プロジェクト残高※6 (開発プロジェクト残件数)	千円 (件)	1,953,496 (8)	3,139,478 (8)	4,504,548 (8)	2,903,515 (4)	—

※1 受注高とは、新規受注したプロジェクト及び追加工事の合計額となります。

※2 プレミアムガレージハウスの受注高については、協力会社による受注の数値を含めております。

※3 期末時点受注残高とは、期末時点において売上計上されていない受注高の残高合計（将来プロジェクトの進捗に応じて売上計上される金額）となります。

※4 期末時点進行プロジェクト件数とは、期末時点において進行中の請負受注スキームにおけるプロジェクト件数となります。

※5 開発用地取得契約件数については、当該土地の取得契約を締結し、手付金を支払った時点で1件とカウントしております。

※6 開発プロジェクト残高とは、期末時点における土地及び建物の完成に要する原価見込額の合計となります。

従業員数					
	単位	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
2024年11月期	人	69	73	82	
2023年11月期	人	54	67	67	69

※連結会計期間末時点での連結従業員数となります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,631,105千円増加し、7,081,881千円となりました。これは主として、現金及び預金が1,392,443千円、仕掛販売用不動産が381,912千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1,561,711千円増加し、4,282,020千円となりました。これは主として、前受金が1,003,670千円、長期借入金が268,241千円、短期借入金が145,000千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて69,394千円増加し、2,799,860千円となりました。これは主として、配当金の支払による利益剰余金の減少27,026千円、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加87,003千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の通期連結業績予想につきましては、2024年1月12日に公表した数値に変更はありません。請負受注スキームの受注状況及び進行中のプロジェクトの進捗状況、並びに開発販売スキームにおける仕入及び販売状況を引き続き慎重にモニタリングし、業績予想を修正する必要がある場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,456,383	3,848,827
売掛金	65,461	83,780
販売用不動産	836,026	830,777
仕掛販売用不動産	925,864	1,307,777
未成業務支出金	20,612	38,180
短期貸付金	58,500	52,000
未収還付法人税等	49,269	635
その他	82,458	81,304
貸倒引当金	△60,900	△54,275
流動資産合計	4,433,676	6,189,006
固定資産		
有形固定資産	504,647	493,336
無形固定資産		
のれん	109,070	89,437
その他	32,811	26,168
無形固定資産合計	141,881	115,605
投資その他の資産		
投資有価証券	105,869	1,391
繰延税金資産	103,577	80,495
その他	189,824	207,087
貸倒引当金	△28,701	△5,042
投資その他の資産合計	370,569	283,932
固定資産合計	1,017,098	892,874
資産合計	5,450,775	7,081,881
負債の部		
流動負債		
買掛金	389,720	521,476
短期借入金	437,500	582,500
1年内返済予定の長期借入金	83,092	106,444
未払法人税等	29,758	22,931
前受金	483,003	1,486,674
賞与引当金	—	13,206
預り金	21,104	35,375
その他	176,884	152,315
流動負債合計	1,621,062	2,920,923
固定負債		
長期借入金	683,986	952,227
リース債務	111,209	106,499
資産除去債務	112,330	105,126
長期預り保証金	163,722	171,509
その他	27,998	25,734
固定負債合計	1,099,247	1,361,097
負債合計	2,720,309	4,282,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	789,647	789,647
資本剰余金	789,647	789,647
利益剰余金	1,848,148	1,908,125
自己株式	△700,951	△700,976
株主資本合計	2,726,491	2,786,443
新株予約権	3,974	13,416
純資産合計	2,730,465	2,799,860
負債純資産合計	5,450,775	7,081,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,036,466	3,865,540
売上原価	2,322,084	2,737,174
売上総利益	714,382	1,128,365
販売費及び一般管理費	866,243	974,423
営業利益又は営業損失(△)	△151,860	153,942
営業外収益		
受取利息	2,665	1,282
受取配当金	90	90
還付加算金	678	280
貸倒引当金戻入益	—	23,705
固定資産売却益	—	1,999
その他	177	2,112
営業外収益合計	3,610	29,471
営業外費用		
支払利息	7,395	19,116
支払手数料	5,238	1,716
持分法による投資損失	5,094	2,277
貸倒引当金繰入額	58,500	17,080
その他	22	2,556
営業外費用合計	76,251	42,746
経常利益又は経常損失(△)	△224,501	140,667
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△224,501	140,667
法人税、住民税及び事業税	1,278	30,582
法人税等調整額	△40,919	23,082
法人税等合計	△39,640	53,664
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△184,861	87,003
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△93	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△184,768	87,003

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△184,861	87,003
四半期包括利益	△184,861	87,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△184,768	87,003
非支配株主に係る四半期包括利益	△93	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2023年2月14日開催の取締役会決議に基づき、2023年3月7日付で、ONGAESHIキャピタル投資事業有限責任組合1号及び株式会社カヤックを引受先とした第三者割当による自己株式227,800株の処分を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が125,495千円、自己株式が375,391千円減少し、主にこれらの影響により、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が1,625,813千円、自己株式が701,110千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年1月12日 取締役会	普通株式	利益剰余金	27,026	5.00	2023年11月30日	2024年2月22日

(注) 2024年1月12日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金177千円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）及び執行役員（以下、取締役とあわせて「取締役等」という。）の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性を明確にし、取締役等が株価上昇によるメリットを享受するのみならず、価格下落のリスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じて、信託の資産及び負債を企業の資産及び負債に計上する総額法を適用しております。

(1) 取引の概要

本制度は、取締役等の報酬として、当社が金銭を拠出することにより指定する信託（以下、「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社取締役会で定める役員株式給付規程に基づいて、各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式及び当社株式の時価相当額の金銭（以下、あわせて「当社株式等」という。）を本信託を通じて、各取締役等に給付する株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として、各事業年度の業績確定後となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末時点で40,432千円、16,400株、当第3四半期連結会計期間末時点で40,432千円、16,400株であります。

(従業員に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社及び当社グループ会社の従業員（以下、あわせて「当社グループの従業員」という。）に対するインセンティブ・プランの一環として、当社グループの中長期的な業績の向上及び企業価値の増大への当社グループの従業員の貢献意欲や士気を高めることを目的として、従業員向け株式給付信託（以下、「本制度」という。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社取締役会で定める従業員株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社グループの従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社は、当社グループの従業員に対し、従業員株式給付規程に基づき業績達成度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給要件を満たした場合には、当該付与ポイントに相当する当社株式及び当社株式の時価相当額の金銭を給付します。なお、本信託設定に係る金銭は全額当社が拠出するため、当社グループの従業員の負担はありません。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末時点で46,104千円、19,100株、当第3四半期連結会計期間末時点で46,104千円、19,100株であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	33,641千円	35,210千円
のれんの償却額	19,632千円	19,632千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、「空中店舗フィル・パーク」等、空間ソリューション事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、「空中店舗フィル・パーク」等、空間ソリューション事業を提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりますが、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
企画・デザイン等	163,469 千円	258,292 千円
設計・監理	151,991 "	238,138 "
工事請負	1,772,770 "	1,662,486 "
開発販売	571,899 "	1,340,550 "
その他	117,242 "	68,733 "
顧客との契約から生じる収益	2,777,374 千円	3,568,201 千円
その他の収益	259,092 千円	297,339 千円
外部顧客への売上高	3,036,466 千円	3,865,540 千円

(注) その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△34円93銭	16円20銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)(千円)	△184,768	87,003
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又 は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	△184,768	87,003
普通株式の期中平均株式数(株)	5,289,175	5,369,812
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益及び1株当たり四半期純損失の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。1株当たり四半期純利益及び1株当たり四半期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間35,500株、当第3四半期連結累計期間35,500株であります。